

大学等名	兵庫県立大学（社会情報科学部）	申請レベル	応用基礎レベル（学部・学科等単位）
教育プログラム名	【社会情報科学部】数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎）	申請年度	令和 7 年度

取組概要

プログラムの目的・身に付けられる能力

データサイエンス、データエンジニアリング、AIを学ぶ過程において、演習や課題解決型学習（PBL：Project Based Learning）等を効果的に組み入れることにより、リテラシーレベルで学習する内容に加え、課題と目的に応じたシステムを設計し、その解決に必要なデータを適切に見極めて収集・抽出・分析を行う能力や、AI技術を活用してそれらデータを課題解決につなげる能力を習得する。

構成科目

【必須科目】

- | | |
|---------------|-----------|
| ・確率・統計 | ・社会情報科学概論 |
| ・データ構造とアルゴリズム | ・データ分析演習 |
| ・人工知能 | ・機械学習 |
| ・プログラミングI | ・情報セキュリティ |
| ・プログラミングII | ・情報倫理と法 |
| ・線形代数I | ・情報技術の最前線 |
| ・微積分I | ・計算科学の世界 |
| ・データマイニング | ・PBL演習I |
| ・ソフトウェア開発論 | ・PBL演習II |

【推奨科目】

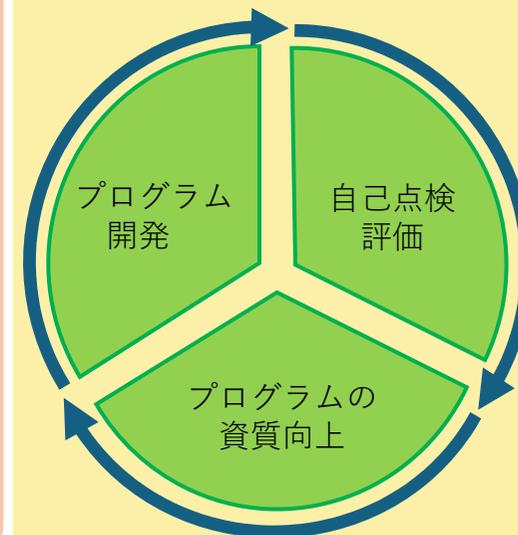
- ・プログラミングIII

修了要件

上に挙げた全ての必須科目（各2単位）について、単位を取得する事。一部の科目（ソフトウェア開発論、情報セキュリティ、計算科学の世界（各2単位））が選択必修の科目であるため、それらを選択する必要がある。
※プログラミングIIIは、本プログラムの発展的内容であり、修了要件には含まれないが、履修を推奨している。

プログラム改善体制 自己点検・評価体制

社会情報科学部データサイエンス専門教務委員会



履修者数・履修率の 向上に向けた計画

- ・プログラム対象科目は、ほとんどの科目において必修科目であり、選択科目についても希望する全学部生が受講可能な体制を取っている。
- ・入学時又は2年生以降の進級時のオリエンテーションの際に応用基礎レベルで求められ科目についても説明し、選択科目についても受講を促している。
- ・年次進行とともに当プログラムの履修率100%を目指す。